




くぼたつ

久保田達也(くぼた・たつや)：冒険家、NAPU大学名誉人文学博士、ラジモア大学教授、工学院専門学校インターネット科特別講師、日経新聞ビジネスセミナー常任講師。

インプレスTVに出演が決定！ 映像コミュニケーションを企画する

11月から始まる「インプレスTV」を企画&出演することになった。「企画する」をテーマとして、毎回具体的な企画を創り出して、その実践ノウハウを解説しようという趣向だ。また、多種多様なインターネットならではの映像による番組を制作していくことで、ブロードバンド時代のビジネススキルを切り開いていこうと考えている。11月20日から毎週月曜日、10分枠の放送だ。毎回ゲストを招いたり取材に出向いたりして臨場感あふれる企画話で盛り上がろうというもの。

僕がこの番組に参加したのはいくつかの理由がある。一番目はインターネット放送局を一人で運営することの難しさに気づいたことだ。4年前のアトランタオリンピック、僕一人によるインターネット報道では英文記事の取材先チェック、重い機材を抱えての移動と撮影、連夜の原稿アップなどにほとほと閉口した。その後も、3年前のテレ朝CNNレギュラー生出演の経験を生かし、なんとか個人でインターネット放送を立ち上げようといういろいろ実践したが、結果は不可能と判断せざるを得なかった。情報量にものをいわせた番組ネタの抽出力、視聴者サイドに立った企画力、放送局のネームバリュー、ロケ現場での臨機応変なディレクション、多数のスタッフによる連携プレー、徹底的な反省会……。それら数十年にわたるノウハウがぎっしりと調和してテレビ番組は作られている。素人がちょっとやってみたからといって、人様が見てくれるような番組は作れるものではないのだ。

二番目は番組制作とは別に、インターネットを使えば使うほど自分の企画力を磨かなければならないことに気づいたことだ。たとえば、自分のホームページを制作しようとしたとき、まず行き詰まるのは「コンテンツは何を創ろう」である。当然そこにはアイデア力やそれを実現する企画力が要求される。僕はもともと企画業界を20年わたってきた経緯があり、そのノウハウを提供できる。番組では「企画とはいかに簡単に楽しいものか」を実践的に映像表現できると思った。

三番目は、ブロードバンド時代に向けて映像コンテンツが実用化を迎えようとしていることだ。僕は一般



家庭にADSLや光ファイバーなどの高速専用線環境が充実するここ2、3年でホームページが映像化すると考えている。もちろん、それに加えて双方向メディアが実現するわけで、従来のテレビとは違い、視聴者参加型というよりも、一般人による一般人の一般人のための映像コミュニケーションが始まると期待している。番組の構成は大まかには決まっているが、あえて固めてはいない。この手の双方向番組作りはまだだれもノウハウを構築したとはいえ、試行錯誤を繰り返しながら作り上げていく未知の領域だからだ。僕としてはそこに魅力を感じるところなのだ。

初回の4本(40分間)は撮り終えた。

NO1 くぼたつトーク「インターネットで企画を立てよう」

NO2 当番組ディレクター布村さん登場「踊る阿呆に見る阿呆、みんなもこの番組を企画してみないか」

NO3 倉園編集長登場「本格派最新eビジネス企画」

NO4 くぼたつブラザーズ恒川さん登場「64kインマルサットSOHO企画だ」

撮り終えてみた感想は、さすがにその筋の専門家との企画対談は実現しそうなアイデアで盛り上がるものだ。今後は業界のもっと極めた人間に体当たり取材して、アイデアを連発していきたい。双方向メディアなのだから視聴者からのメッセージや企画案を番組に反映したい。番組を観たあなたのオリジナル企画をぜひ投稿してほしい！

 impress.tv



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp